

公務災害防止対策事例集

通勤途中に事故を起こした

<発生状況> <ul style="list-style-type: none">●自家用車での帰宅途上において事故を起こした。	<発生原因> <ul style="list-style-type: none">●多忙な時期で時間外労働が続いたことによる過労が原因と考えられる。
<再発防止対策> <ul style="list-style-type: none">●毎月の衛生委員会において、長時間労働該当者を把握し、個々の事情・背景を踏まえた具体的対策の検討を行う。●長時間労働者に対して産業医面談及び所属長面談を適切に実施する。	

使用済みの針で指を刺した

<発生状況> <ul style="list-style-type: none">●入院患者へ筋肉注射・ライン確保を行った後、片付けの際に誤って使用した針で指を刺してしまった。●病棟処置室のごみ箱からあふれていたごみを片付けようとしたところ、インスリン自己注射針が刺さってしまった●救急初療室にてドレープを片付ける際、ドレープに針が混ざっており刺してしまった。	<発生原因> <ul style="list-style-type: none">●針捨てボックスを持参していなかった。●注射針の廃棄のルールが守られていない。●医療廃棄物の取り扱いを素手でいった。●使用後の針が適切に処理されていなかった。
<再発防止対策> <ul style="list-style-type: none">●針捨てボックスを必ず持参することをスタッフ全員への周知を行った。●針刺し事故発生時の院内マニュアルを再周知した。●針や鋭利なものは使用者が責任をもって専用廃棄ボックスへ廃棄するよう周知した。●医療安全委員会に報告し、再発防止を呼び掛けた。	

血液を浴びた

<発生状況> <ul style="list-style-type: none">●点滴ラインから血液製剤が漏れ、眼球粘膜に暴露した。●透析回路を外した際、回路内圧が上がっていたため血液が噴射し、両目に暴露した。	<発生原因> <ul style="list-style-type: none">●シリンジと三方活栓のコネクトが完全に閉じていなかった。●手順が守られていなかった。●ゴーグルを未装着だった。
<再発防止対策> <ul style="list-style-type: none">●製剤とラインの接合をしっかりと行うようスタッフに指導した。●災害の発生を周知し、再発しないよう啓蒙した。●ゴーグル等防護の装着及び規則・手順の確認を徹底するよう呼びかけた。	

薬品を浴びた

<発生状況> <ul style="list-style-type: none">●洗浄消毒作業中、次亜塩素酸ナトリウムの容器から液を計り入れる際、跳ねた液が目に入ってしまった。	<発生原因> <ul style="list-style-type: none">●保護メガネの着用を促していたが周知徹底に至っていなかった。
<再発防止対策> <ul style="list-style-type: none">●事故が発生したこと及び次亜塩素酸ナトリウムの取り扱いについて全体ミーティングで周知徹底した。	

患者から被害を受けた	
<p><発生状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ●採血時に患者が暴れて蹴られた。 ●興奮した患者を制止しようとしたら手を噛まれた ●治療室の外に出ようとした患者を止めたときに腕をつかまれ頭を殴られた。 	<p><発生原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ●スタッフ間で精神運動興奮が増強した場合の対処について具体的な介入の確認が不十分だった。 ●患者対応のスキルとしての看護体制に医師と看護師間の認識のずれがあった。
<p><再発防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ●拒否する患者に対しても原則、説明して同意を得て介入する。 ●スタッフはCVPPPトレーニング（包括的暴力防止プログラム）を受講し実施する。 ●医療安全委員会に報告し、各部署へ患者の状態を把握して対応するよう呼びかけた。 ●医療安全対策室スタッフ等の緊急連絡先をフロア内に表示する。 	

生徒から被害を受けた	
<p><発生状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ●指導中、児童が逆上して足を蹴られた。 ●生徒に呼び出され、首を絞められた。 	<p><発生原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ●指導を行ったつもりが、逆に感情を荒立ててしまい反発を受けた。 ●生徒対応を一人で行ったため。 ●発達障害の特性への理解が不足していた。
<p><再発防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ●全職員で、当該児童への今後の対応と指導方針の確認を行った。 ●保護者面談を行い、学校の対応と指導体制についての共通確認を行った。 ●生徒指導は複数人で対応する。 ●生徒が興奮しているときは、まず落ち着かせることを最優先する。 	

被疑者・不審者・保護対象者等から被害を受けた	
<p><発生状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ●被疑者確保の際、被疑者ともつれて転倒して顔面を負傷した。 ●酔っ払い喧嘩を制止した際に激しく抵抗され、腕を噛まれた。 ●職務質問で逃走した不審者を追跡した際、歩行中の小学生と接触して転倒した。 	<p><発生原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ●追跡時の間合いの不保持。 ●対象者の動静監視不足。 ●周囲の動静監視不足。
<p><再発防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ●被疑者、不審者、保護対象者は、逃走、反撃、自殺するということを再認識し、対応には常にリスクを伴うことから緊張感を保持すること。 ●動静監視は、相手の全身が見える程度に適正な距離感を保つ。 ●対象者だけでなく周囲の状況にも注意を払う。 	

訓練時に負傷した	
<p><発生状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ●山野での警備訓練（2時間程度走り続ける。休憩・水分補給は適宜行った）に参加し、熱中症、脱水症になった。 ●訓練で駆け足したところ、膝、股関節を負傷した。 ●柔道の稽古（術科訓練）中に、寝技から抜けようとして腕が相手の下敷きとなり骨折した。 	<p><発生原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ●高温多湿の環境の中、運動強度の高い訓練であった。 ●体調の異常に気付いていたが訓練を続行した。 ●塩分補給が充分でなかった。 ●訓練前後のストレッチ不足 ●無理な体制をとった。
<p><再発防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ●上司による訓練前後の体調確認の実施及び訓練途中も体調の変化を把握。 ●体調に異変を感じた際に訓練離脱を申し出やすい環境づくり。 ●訓練前後の準備運動・ストレッチを確実に実施する。 ●訓練指導員による事故防止の指示・教養 ●武道稽古では、無理な体勢で技をかけたり、技をかけられていないか監視役をつけて事故防止を図る。 	

作業中に負傷した	
<p><発生状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ●脚立に乗りビニールハウスの張替え作業を行っていたところ、バランスを崩し倒れ、肘を負傷した。 ●剪定バリカンで剪定作業中、枝を持っていた左手にバリカンの刃があたり、負傷した。 ●ゴミ袋を収集しているところ、ゴミ袋に混入していたフードプロセッサの刃が足に接触し、負傷した。 	<p><発生原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ●脚立を支えてもらってなく、一人で作業をしていた。 ●本来両手で扱うバリカンを片手で扱い、剪定対象の枝をおさえたもう一方の手にバリカンの刃があたった。 ●ゴミ袋は体に接触しないよう収集作業をする必要があるが、注意不足であった。
<p><再発防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ●脚立等、不安定な場所にて作業する際は、一人で作業を行わず、補助者をつけて作業を行う。 ●当該バリカンを使用禁止とし、片手で扱うことが困難な重量のある機種を購入した。 ●全体朝礼を通じて作業における注意喚起を行った。 	

転倒して負傷した	
<p><発生状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設内の地図を持ち、建物の位置の確認作業をしていたところ、部外者侵入禁止のために設置したチェーンに足を取られ転倒し、地面についた手の指を骨折した。 ●火災報知機が作動し、走って確認に向かったところ、階段から滑って足を骨折した。 	<p><発生原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ●地図に集中するあまりチェーンを跨ぐ際につま先を取られてしまった。 ●火災発生の確認に意識が向かい階段で思わず足を滑らせた。
<p><再発防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ●図面を見る際は足を止め、停止した状態で確認することを職員に周知した。 ●事故注意の喚起（階段を着色塗装し段差をわかりやすくした） ●全職員へ事故の報告及び注意喚起 ●関係部署へ事故防止の周知徹底 	

物にぶつかり負傷した

<発生状況>

- 図工室の棚にある物を取ろうとした際、机上の収納箱を足に落として打撲した。
- 保管室で在庫確認を行っていたところ、立てかけていた脚立が倒れ、頭部を直撃した。

<発生原因>

- 図工室は物が多く、通路も狭くなっており、物が取りづらい状況にあった。
- 立てかけた脚立は固定されておらず、不安定な状況であった。

<再発防止対策>

- 図工室に置かなくてもよい用具は別室に移動させ、物が取り出しやすいように整理した。
- 作業スペースを十分に確保できるよう整理整頓を実施。
- 脚立は転倒しない箇所での保管とした。